



学校だより

上越市立下黒川小学校

第9号(文化祭特集号)

平成29年11月10日発行

<http://www.shimokuro.jorne.ed.jp/>



生活科や総合的な学習の時間に学んだことをもとに「わくわく発表会」を行いました。ステージ上で堂々と発表した子どもたち。それを温かい眼差しで見守ってくださった保護者・地域の皆様。ありがとうございました。写真は手作りスコープで田おこしの場面を表している5年生の発表です。



「笑顔あふれ、みんなが輝く文化祭！」



校長 岩下 伸子

10月28日(土)は文化祭。スローガンは《笑顔あふれ、みんなが輝く文化祭！》

作品展・わくわく発表会・わくわく体験活動・バザー・地域作品展・地域芸能発表会と盛りだくさんの内容でしたが、学校と保護者・地域が連携協働した文化祭だったと感じました。

保護者の皆様や地域の皆様の協力なしでは開催できない当校の文化祭。本当に保護者の皆様、地域の皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。

そして、当校の子どもたちも職員も素晴らしい！と、改めて感じました。大勢の方からたくさんのお褒めの言葉をいただき、本当に嬉しく思っています。ありがとうございました。

文化祭に向け、子どもたちは絵画に工作など、丁寧に作品を仕上げました。また、発表会に向けても、内容を考え、台本を作り、セリフを覚え、替え歌を練習し、小道具や衣装を準備し、さらにワークショップの準備をして…と、友達と協力し、練習しては振り返り、話し合いを繰り返しながらより良い発表になるように工夫していました。そして当日。当日は、ステージ上で堂々と発表していた子どもたち。たくさんの方からお褒めの言葉を頂戴しました。ワークショップも分かり易かったと褒めていただきました。子どもたちの《**笑顔あふれ、みんなが輝く文化祭**》でした。

発表の後、2年生はポップコーン(実)をレシピ付きで販売し、5年生は試食付きでお米(元気はつらつ青空米：コシヒカリ)を販売しました。「おいしですよ。いかがですか」と、仲間と協力し、自分たちで作ったものを笑顔で完売。本当に《**笑顔あふれ、みんなが輝く文化祭**》でした。

地域芸能発表会の鑑賞態度も良かったです。学校運営協議会吉井会長からも立派な鑑賞態度だったと褒めていただきました。また、全国大会にも出場した米山会今川ミヨ子さんは「鑑賞態度が素晴らしかった。歌っていて気持ち良かった。是非、校長先生にその気持ちを伝えたい」と、わざわざお礼を言いに来校してくださいました。地域の皆様の踊りや歌、ダンス、柿崎中学校吹奏楽部の皆さんの演奏など、**どれも引き込まれる楽しい内容でした。ありがとうございました。**



そして、今年初めて行った《わくわく体験活動》。初めての試みでしたが、子どもたちにも保護者の皆様にも大好評でした。『びっくりサイエンス』では小松さんが、『フラメンコ』では瀧田さんが指導者となってくださいました。『ストラックアウト』では山賀さん始め、ヤンキースのお父さんたちが指導助言してくださいました。8つのブースのすべてに学校運営協議会の委員さんがサポートをしてくださいました。**お陰様で大成功！ 本当にありがとうございました。**



文化祭・わくわく発表会・わくわく体験活動 バザー・地域作品展・地域芸能発表会



生活・総合「わくわく学習」発表会



1年生は大好きなヤギのげんき君のことをセリフや替え歌を交えながら紹介



2年生はがんばった野菜作りのことをクイズや詩の朗読を交えながら紹介



3年生は校区探検のことを過去に遡り、クイズや劇で発表



4年生は柿崎川探検ワークショップの宣伝



5年生は「米作り」の様子を劇やクイズで発表

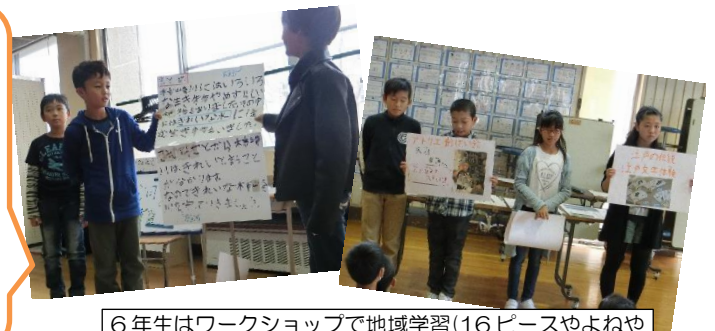


6年生はワークショップの宣伝



5年生のお米はあっという間に完売！
ありがとうございました！

緊張しながら説明し始めた
四年生・六年生のワークショ
ップ。たくさんの方が聞いて
くださったおかげで発表もド
ンドン上手になりました。



6年生はワークショップで地域学習(16ピースやよねやまの里とかかわりなど)や修学旅行での学びを紹介

わくわく体験活動



フラ板



びっくりサイエンス



ペットボトル工作



ストラックアウト



体力測定



ジャンボシャボン玉



物作り



フラメンコ

今年初めて挑戦した「わくわく体験活動」CSの皆様、保護者の皆様のご協力を得て、子どもたちが8つのコーナーに挑戦。「楽しかったです。来年もまたやりたいです」と、大好評！是非来年度の文化祭でも挑戦したいです。

地域芸能発表会

黒川樽ばやし保存会をはじめ5つの団体の皆様がステキな発表をしてくださいました。



柿崎中学校吹奏楽部の皆さんの「演歌メドレー」は、地域の方々に大好評。与作に扮した「ハイハイホー」も。

バザー・食堂



うどんにお寿司、から揚げ、ポップコーン、…ランチルームは美味しい匂いと幸せな笑顔があふれていました。

児童作品展・地域作品展



芸術の秋！素晴らしい作品がいっぱい。地域の皆様の力作・大作もたくさん展示されました。

子どもたちの活躍

★上越市科学研究発表会(9月27日)

「おみそ汁の豆腐はなぜ浮いているのか」(奨励賞) 5年
「十円玉の色が変わる温泉をさがせ！」(奨励賞) 5年

入賞児童名はP数配布・町内回覧したお便りでご確認ください。



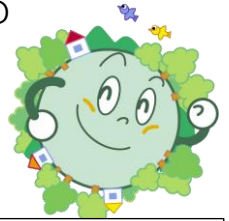
櫻出昂汰さんは2年連続、小松真由さんは3年連続の科学研究発表です。

2人は夏休みになってから自由研究に取り組む…のではなく、普段から「科学のネタ」探しをしているそうです。普段の生活の中で「不思議だな?」「なぜかな?」「どうしてかな?」「おもしろいぞ!」と思いながら、「科学のネタ」を探し、《調べてみる・比べてみる》のだそうです。

来年、是非、科学研究発表会に挑戦してみようと思う人は、今から「不思議だな! 確かめてみたい! 実験してみたい!」と思うことを探してみてくださいね。

★緑と森の感謝祭 in 柿崎標語コンクール(10月9日)

「未来へつなげ! 森は地球の宝物」(優秀賞) 6年
「守ってあげるよ 豊かな緑 守っていこうよ ぼくらの未来」(優秀賞) 5年



《第3回TKB旬間です》 11月6日(月)~15日(水)

今年度、3回目のTKB旬間です。柿崎区の3小学校と柿崎中学校で小学校1年生から中学校3年生までが《T(テレビ)をK(消して)B(勉強しよう)》と10日間取り組みます。

学校で学んだことの定着を図るためには、繰り返しの学習が必要です。ドリルやプリントなどで漢字の読み書きや計算を練習することによって学んだことが定着していきます。全学年でドリル等の課題が出ています。

しかし、習ったことのみ学習する(復習)のではなく、まだ習っていないことを自分から進んで学習(予習)したり、自分から課題を設定して取り組んでみたりすることも大切です。例えば、1年生では習っていない国語の教科書の物語文を読んでみる・暗唱してみる。2年生ではかけ算九九を1~9の段までを1分間で唱えることに挑戦する・おうちの人と九九の問題を出し合う。3・4年生ではローマ字で一言日記を書いてみる。5・6年生では新聞を読んだり、興味ある記事を切り抜いてそれに対する自分の考えを簡単にまとめて書いたりしてもいいですね。TKB旬間に合わせて、読書旬間を設定しました。親子読書やお子さんへの読み聞かせ、子どもたちがおうちに人に読んであげる…というのでもいいですね。



自分から自主的に学ぼうとする力や態度が重要ですが、おうちの方が勉強をがんばっている子どもたちを褒めることが大切。おうちの方から褒めていただくことが子どもたちにとって一番嬉しいことのようにです。よろしくお願いいたします。

分かれると楽しい! できると楽しい! 褒められると嬉しい!



文化祭の作品作りに向けて休み時間も絵を描いたり色を塗ったりしていた子どもたち。鎧や兜、テープカッターや自分の夢の家、米販売のポスター、ワークショップのまとめ等々に、休み時間、友達と一緒に取り組んでいた子どもたち。自分の思い通りの作品を作り上げようと一生懸命でした。そんな合間を縫って、勉強の分からないところを担当と一緒に休み時間に勉強している子どもたちがいました。算数の文章題や国語の読み取り、漢字などを勉強しながら「分かった!」という瞬間の子どもたちの笑顔。とてもステキな笑顔でした。

《分かれる・できる・褒められる》は、大人になっても嬉しいですものね。どうぞ子どもたちのがんばりを大いに褒めてあげてください。

11月24日(金)...しあわせタイムです。

子どもたちと一緒に楽しいひとときをお過ごしください。老人会・祖父母の皆様のご来校を子どもたちは、とても楽しみにしています(一緒に遊んだ後にお渡しするプレゼントやお礼のコーナーについて相談しながら準備を進めています)。どうぞお誘い合わせの上、ご来校ください。

